



創刊のごあいさつ

代表取締役
榊原 弘之



あけましておめでとうございます。

アルシアコンサルティング株式会社、代表取締役の榊原弘之と申します。

楽しい将来(みらい)をお金のことで悩んでほしくない、困ってほしくないという想いを形にして1年。皆様のおかげで、今年も無事に新しい年を迎えることができました。

日頃から弊社をご愛顧いただいているすべてのお客様に、心より御礼申し上げます。

さて、昨年は私ども「みらいのお金クリニック」(アルシアコンサルティング株式会社)にとりましても、保険代理店として独立を果たし、生命保険会社9社、損害保険会社2社の取扱いができるまでに成長し、スタッフも充実し、非常に実り多き1年でございました。“お金のかかりつけ医”と銘打ち、「家計のこと」「老後のこと」「保障のこと」など、保険販売だけに捉われない新しいコンサルティングの形を導入したことで、ご相談いただくお客様の数も飛躍的に拡大いたしました。とりわけ、女性を対象とした「女性のためのマネーセミナー」では受講くださった方々よりご好評をいただきました。今年も皆様の多様なライフスタイルに応じた、より多くの選択肢をご用意してまいります。

その一つの形として、昨年まではメールアドレスをご登録いただいておりますお客様に毎月メールマガジンの発行を行ってまいりました。今年は弊社をより身近に感じていただけるよう、定期的に「NEWS*LETTER」という形で、すべてのご契約者様・ご関係者様にご郵送にてお届けさせていただきたいと思っております。経済コラムや保険にまつわる記事ばかりではなく、地域の情報や弊社の取り組みなどを多様な情報をスタッフの顔写真とともにお届けさせていただきます。楽しかったコラムや気になる記事がございましたら、ぜひお会いした際にお声を寄せていただけると嬉しく思います。

近年は少子高齢化にともない年金や医療・介護などの社会保障費用が急激に増加し、国の財源の大部分を占めています。こうした社会保障に関する国や地方自治体の歳出も毎年急速に伸びる一方で、経済の成熟化に伴い高い経済成長率が望めなくなったことから、税収は歳出に対して大幅に不足し、国の歳入の約半分を借金(国債の発行)に頼るといった厳しい状況です。日本の借金は国際的にも最悪の水準にあり、国も地方自治体も過去にない巨額の借金を抱えています。借金は将来世代「みらい」への負担の先送りです。このままでは社会保障制度を安定的に機能させることができなくなるおそれがあります。

私ども「みらいのお金クリニック」(アルシアコンサルティング株式会社)は、漠然とした不安を



抱く多くの皆様に寄り添い、より充実したライフプランの実現のお手伝いをすべく、保険商品の販売だけでなく、お金にまつわるトータルサポーターとして、身近な存在でありたいと思っております。また、ご契約者の皆様におきましては、気軽にご参加頂ける各種セミナーやイベントなども積極的に企画してまいります。どうぞご期待ください。

知れば知るほど! ナルホド金融経済 「2016年の世界と日本」

ファイナンシャルプランナー
松下 新



皆様あけましておめでとうございます。

金融経済のコラムを担当させていただき松下新(まつしたあらた)と申します。30年に及ぶ銀行・証券での実務経験を基に金融経済をわかりやすく解説していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。金融は大きく分けると銀行、証券、保険に分かれます。しかし行き着くところ、これら3つの業種はすべてお金の循環を分け合っているだけで、すべて一つの金融というものでつながっているのです。3つの業種を金融庁がすべて管轄していることを考えればご納得していただけないと思いません。そのつながりのある金融とそれを取り巻く経済というものを少しでもご理解いただければ幸いです。

さて、昨年末にアメリカのイエレン議長率いるFOMC(連邦公開市場委員会)が9年ぶりに金融政策を転換し、利上げを実施したことはご記憶に新しいと思います。今年はアメリカが数回にわたり利上げを実施していくことになり、ドル金利もじわじわと上昇していくことが予想されます。また、ドル円相場も金利上昇に伴い徐々にドル高に進むと思われる中、商品相場(原油や貴金属など)の下落が足を引っ張りドル高に向かうのを押さえつけている現状があり、エコノミストの間では円高になると予想している人も見受けられます。

実際にどうなるかは「神のみぞ知る」ですので誰にもわかりませんが、現在、金融・経済・政治は一体化し、グローバル化により日本の明日を語るには世界の動きを知る必要があります。そこでまずは今年予定されている主な行事を確認しておきましょう。

2016年度の予算(執筆中の現在、政府案はまとまっています)は自民党多数で政府案通りに春までには成立すると思いますが、2017年4月から消費税が10%になることを控え軽減税率も同時に実施されます。収不足に悩む政府が財源確保のため国債増発という借金体質



からどう抜け出そうとしているのか。予算の中身を見て改めてお話ししたいと思います。

5月26日からは伊勢志摩サミットが開催されます。これはいわゆる政治ショーですので、具体的な金融経済に関する決定事項を議論することはほとんどないと思います。しかし仮に極端な円高、円安になっていたら参加国から修正を余儀なくされますから一つのターニングポイントになることは確かです。

8月にはリオデジャネイロでオリンピックが開催されます。新興国を代表するブラジルですが、サッカーのW杯・五輪とビッグイベントもこれで終わります。その後の経済成長を考えるとまだ不安要素が残り、新興国全体へのリスクは下がりそうにありません。だからこそ大きなリターンが望めるのだというリスクテカーも存在しますので、新興国への注目度はIMFの特別引き出し権(SDR)に加わった中国元と共に今後も高いものとなるでしょう。

11月にはアメリカで大統領選挙があります。民主、共和両党の争いは経済政策の争いでもあります。特にTPPや為替政策の考え方は日本だけでなく世界の国々に影響を与えますので注目されます。

以上のようなイベントは金融相場に与える影響も大きいので注目したいところです。また、金融経済を考えるに今年からとてもありがたいことがあります。それは冒頭にもお伝えしたFOMC(連邦公開市場委員会)の開催に合わせて日本銀行による日銀金融政策決定会合も開かれることになったのです。これにより日米の金融政策がタイムリーに開示されるので金利や為替の戦略をより建てられやすくなります。また日銀によるインフレ予想の考え方がわかる「経済・物価の展望」いわゆる「展望リポート」も年2回に加え中間報告が2回政策決定会合に合わせて発表されるのはありがたいです。

最後に資産運用で重要な証券税制の変更を確認しておきましょう。昨年まで非課税だった債券(国内、外国問わず)の譲渡益(売却して儲けた分)が今年から株式同様20.315%(所得税=15.0%、復興特別所得税=0.315%、住民税=5.0%)になりました。また債券からの利子、分配金は源泉分離課税20.315%でしたが今年から申告分離課税(税率は同じ)となっています。一方、公社債、公社債投信等の利子や分配金、売買損益について損益通算はできませんでしたが、今年から損益通算が可能となっていますのでご注意ください。

保険がわかる! か・ん・た・ん・Lesson! 「人生における様々なリスク」

ファイナンシャルプランナー
堤 太郎



みなさん明けましておめでとうございます。
ファイナンシャルプランナーの堤太郎と申します。高知県の田舎町より上京してもう17年、ファイナンシャルプランナーとしては6年目となりました。保険って分からない。難しい、めんどくさい、そう考えられる方も多いかと思いますがこのコラムではできる限り簡単に、時には具体例も交え書かせてもらいますのでお付き合いのほど宜しくお願いします。

今回は初回という事で、保険とはどういった考え、仕組みの下にできているのかといった基本的な部分について書かせていただきたいと思います。

保険とはまず、災害や、病気やけがといった人生における様々なリスクに対して相互扶助の仕組みによって作られています。

人は生活するうえで様々なリスクを抱えています。先にあげた災害や病気、またはケガによって入院をせざるをえない、またそれが原因で介護状態になってしまうかもしれない。それに加え、現代社会では長生きによる老後の資金不足といった問題も取りざたされています。

このように、私たちは生活をする以上常にこういったリスクと隣り合わせであるという事を念頭に置いて、それらのリスクに対処できる一つの手段として保険というものが存在しています。

「一人は万人の為に、万人は一人の為に」という相互扶助、お互いを助け合うという精神のもと、多くの人が少しずつお金を出し合うことで大きな



共有財産が生まれます。お金を出し合った人の誰かが人生における大きなリスクに直面した時、その財産を使ってリスクに対処する。それが保険の仕組みという事です。ケガ、病気で入院してしまったら、がんになってしまったら、子供や家族を残して死んでしまったら、介護状態で収入が無くなってしまったら、年金が足りなくなったら等々本当に多種多様なリスクが現在では挙げられています。販売されている保険商品もそれぞれのリスクに細かく対応したものが存在しています。一般的に保険というとどれも同じようなものと考えられがちですが、医療技術の進歩、公的医療制度の変化、時代の変化、生活の変化に合わせて常に変化をしています。ご自身が加入されている保険が自分のリスクに対処できるものなのか定期的に見直す機会を設けることでより大きな安心が得られるのではないのでしょうか。

戦力を失わないために

「介護離職」という言葉をご存じでしょうか。従業員が家族の介護のために退職することを指してこう呼ばれます。近年この「介護離職」が増えているのだそうです。

子育てはとても大変ですが、介護が子育てと違うのは先が見えないところだと一般に言われます。働き盛りの従業員がそうした状況に直面した時に知っておきたいことのひとつに「介護休業給付金」があります。

六十五歳未満の従業員が、要介護状態となった家族を介護するために介護休業を取得した場合、一定の要件を満たすと雇用保険から「介護休業給付金」を受けられるのです。支給額は次のように計算されます。

休業開始時賃金日額×支給日数(上限93日)×40%

このほかにも、自治体によっては家族介護慰労金制度を実施しているところや、さまざまな介護保険外サービス

を行っている自治体もあります。



子どもは一般に成長とともに手がかりからなくなります。介護は時間の経過とともに負担が増える傾向があります。介護で会社の大切な戦力を失わないためにも、もしもの時は介護休業給付金をはじめとするこうした各種制度をぜひご活用ください。

(ご参考)「介護休業給付の内容及び支給申請手続きについて」(厚生労働省)

※上記は、平成二十七年十一月現在の法令にもとづき作成しております。法令は将来変更されることがありますのでご注意ください。また、介護休業給付金に関する申請やお問い合わせは都道府県労働局公共職業安定所にご確認下さい。

運がよくなる♪ 2分de家計簿 No.1

ファイナンシャルプランナー
深川 恵理子



みなさま、あけましておめでとうございます。
家計の整理整頓、終活&相続を担当します深川恵理子と申します。
毎日、お金に煩わされず、スッキリ爽やかに暮らしませんか？ そのためにお金と仲良く付き合っていく方法を主婦目線で分かりやすく楽しくお伝えできればと思っております。どうぞよろしくお祈りいたします。

さて、新しい年を迎え、「今年こそ家計簿をつけて、お金を貯めよう!」と家計簿を付け始めた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

がしかし、よくお客様からお聞きするのは、「何度もトライしたけど、いつも三日坊主で…お金のことは苦手なんです…」となんとも悲しいお話。でも、これは当然のことです。本屋さんで売っている家計簿はやたら細かくて複雑ですから。忙しい毎日にこんな面倒なものをキチンと付けられる方は、よほどマメな方です。そんな方は家計簿をつけなくても、節約や貯蓄ができるかもしれません。



そもそも家計簿は、何に使ったかわからない使途不明金を無くし、家計のどこにムダ遣いがあるか問題点を見つけて、それを改善して貯蓄が出来るようにするためのものです。

家計簿はシンプルでOK!

複雑なものでなくても、今の家計の状態を客観的にみられるシンプルでざっくりとしたもので大丈夫です。あとは習慣にするだけです。
「え〜!でも、私には無理…」と思っているあなた!
家計簿をつける習慣が身に付いたら、お金が貯まるだけでなく、こんないいことが…

- ✦ 一段とスマートできれいになります♪
- ✦ 家の中がスッキリと片付くようになります♪
- ✦ 運がよくなり、ハッピーな出来事が増えます♪
- ✦ 家族がますます仲良くなります♪

まるっきり家計簿と関係ないことばかりと思いませんか？
いえいえ、暮らしは全部繋がっています。
家計簿を付けるだけで、なんとなくモヤモヤしていることが知らないうちに解決します。
家計簿をつけないなんてもったいない!

さあ、2016年、家計簿を歯磨きのような習慣にしましょう! 私にお任せ下さい。簡単で楽しい私実際に付けている【運がよくなる♪ 2分de家計簿】。その自然に無理なくお金が貯まるノウハウをわかりやすくお教えます。ぜひ弊社までお問い合わせ下さい。

みなさまの新しい年が健康で笑顔あふれますように!

湘南の宝石 2015-2016



クラーク
金子 綾子



皆さま あけましておめでとうございます。
地域コラムを担当させていただくクラークの金子綾子と申します。
生まれも育ちも横浜ですが、10数年前に湘南に移り住んでからはすっかり湘南の虜になってしまいました。そんな湘南の魅力を少しでもコラムでお伝えしていきたいと思っております。よろしくお祈り致します。

冬の江の島で開催されているライトアップイベント『湘南の宝石2015-2016』をご存知でしょうか? 「江の島

シーキャンドルライトアップ」「江の島ウィンターチューリップ」「バレンタインアイランド江の島」という3つのイベントの総称で、関東三大イルミネーションや日本夜景遺産にも認定された冬の湘南を代表するイベントの1つです。イルミネーションはクリスマスで終わってしまうものが大半ですが、こちらのイベントはそれぞれ開催時期が異なり、年が明けても開催され長期間美しい光のイベントを楽しむことができます。夏のイメージが強い湘南ですが、冬も素敵なイベントが開催されています。ぜひ美しいイルミネーションを見にお越し下さい。

差出人・連絡先

アルシアコンサルティング株式会社

〒251-0023 神奈川県藤沢市鶴沼花沢町2-3 PHビル2階
TEL: 0466-54-8417 <http://www.arxia.jp/>

掲載内容等に関するお問い合わせは各担当営業まで。
禁無断転載 Copyright Two Way Communications Inc.